

広島県の新型コロナウイルス感染症の状況にかかる評価と提言

【感染状況】

- 県全体の新規陽性者数は、連休明けの 5 月 6 日以降昨年 1 2 月を上回る勢いで急増しており、5 月 1 2 日時点で新規報告数（直近 1 週間の人口 1 0 万対）は、県全体で 4 1. 0 人とステージⅣの水準を大きく上回っている。
- 先行して拡大が認められた広島市、福山市や最近の増加が認められている呉市を除く地域においても、3 2. 0 人と拡大地域は全県に広がっている。
- 陽性者の年代別の分布は、2 0 代が最も多く 3 割を占め、次いで 1 0 代以下、3 0 代と感染を広げやすい活発な世代で 6 割を占め、その割合は増加傾向が続いている。
- 懸念されていたゴールデンウィークの人流増加や、変異株への置き換わりの影響があったと見受けられ、今ここで更なる強い措置を講じなければ感染拡大を招くと予想される。

【医療提供体制】

- 感染者数の増加に伴い、療養者数も増加し、県内の人口 1 0 万対療養者数は、5 月 1 2 日時点で 4 7. 3 人と、前週から倍以上となり、ステージⅣの水準を上回っている。
- 医療提供体制のフェーズを 2 から 3 に引き上げたが、病床使用率は 6 0. 0 %、宿泊療養施設使用率についても 6 9. 4 %と、いずれも 6 割を超えている。今後、更に感染が拡大した場合に備え、病床及び宿泊療養施設の確保を急ぐ必要がある。
- 感染の拡大に伴い家庭内感染も増加し、在宅療養者も急増している。それらの方への健康観察のための保健所の体制の強化、外来受診の充実、在宅患者にも対応可能な新体制の整備等を速やかに行う必要がある。

【クラスター対策】

- 医療施設・介護施設等におけるクラスターは、現在は散発に留まっているが、高齢者層への感染拡大により、今後、頻発する恐れがある。引き続き、施設内の感染防止対策と早めに探知し抑え込む対策の徹底、「医療・福祉クラスター対応班」による施設支援を継続することが必要である。

【ステージ判断について】

- 本県における、感染状況、医療提供体制等は、感染の急拡大に伴い、昨年12月よりも厳しいものとなっている。現状において、県内のほぼ全域において感染の拡大が認められることから、ステージⅣと認識する必要がある。

【広島県の集中対策について】

- 現在の非常に厳しい感染状況から、今後の拡大傾向を早急に抑え込むためには、現在取り組んでいる集中対策以上の徹底した外出の削減による人と人の接触の機会を減らすとともに、感染の場となる飲食に対する対策など、更なる強い措置を早急に講じていく必要がある。
- 飲食店を対象とした時短営業については、まだ開始したばかりであり、人出の状況等を注視する必要があるが、県内の感染拡大状況を鑑み、エリアを全県に拡大する等より有効に人出を抑える対策とすべきと考える。
- 有症状者に対して、確実に医療機関を受診するよう改めて強く県民に呼びかけることが必要である。
- PCRセンターなどの取組は、県民の検査に対する認識を高め、また、広く受検の機会を確保することに繋がっていると考えられる。一方で、現在、実施している事業所を対象としたPCR検査については、感染の拡大に伴い陽性者が増加し、PCR検査の実施件数全体が増加している現状においては、その実効性も含め、慎重な判断が必要である。
- 感染ステージが上がっていることを踏まえ、感染拡大を抑えるためには、集中対策で実施している対象者や計画について見直しを行い、事前確率の高い有症状者や接触者等の検査に注力するよう体制を再構築することが必要である。また、これらのPCR検査を活用した対策が、どの程度感染症対策に寄与しているのかどうかといった点について、実施後に評価・検証することが必要である。